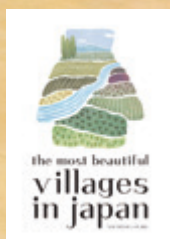


広報 ⊕  
No.719  
令和6年

# いいいたて 1



[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)



飯舘村村長

杉岡 誠

新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。  
昨年は、「暮らし」や「なりわい」への布石を着実に打つことができた年となりました。

例えば、村独自の「赤ちゃん誕生祝い金」や「子育て応援支援金」の新設、「ハシドラッグ」様との基本協定の締結、「セブンあんしんお届け便」の稼働、資源活用型たい肥製造施設の建設開始、産業廃棄物の再生利用に取り組む「中間処理施設」誘致にかかる立地協定の締結、「産業団地」構想の推進などです。またさらに、精肉店、飲食店、ジャズ喫茶もオープンするなど、新たな「ワクワク」や「にぎわい」が多く生まれた年でもありました。

村民の皆様へのふるさとへの想い、「ふるさと」の担い手たる溢れ出る活力、その「尽力」に深く感謝致します。

本年は「木質バイオマス発電所」の稼働が控えているほか、公設民営型の商業施設の整備、新たな企業誘致なども強化していく所存です。また「あぶくまもち」や「飯舘産牛」の海外へのPRなども実現したいと思えます。村民の今を支え、かつ、村の将来への布石となる取り組みを進めることで魅力あふれる「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」を築き上げて参ります。

結びに、皆様の健やかさとお幸せをお念じ申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



飯舘村議会議長

高橋 孝雄

新年を迎え年頭のご挨拶を申し上げます。

今年辰年で、飛躍の年と言われております。震災、原発事故により長い避難生活を強いられ、事故前の村の景色を懐かしく思う毎日です。

令和5年10月13日の臨時議会において、佐藤二郎前議長を継いで議長に就任を致しました「高橋孝雄」です。議長という重責に、身の引き締まる思いであります。議員の皆様そして村民皆様のご協力を頂きまして、務めて参ります。よろしくお願ひ申し上げます。

震災、原発事故から12年10か月、村内のインフラ整備は震災前と比較しても、かなり

進行しておりますが、それでも課題は多くあります。その問題点の一つづつ解決する事で、復興が進みます。

村内の子ども達が元気に走り回る姿、両親が忙しく働く姿、祖父母が元気で野菜等を作り、隣り近所に配る姿など、震災前の飯舘村ではごく当たり前の事が、多くの村民皆様の望みでもあります。

村の第6次総合振興計画の中で、多くの村民の皆様アイデア等を基本とし、今後の村創りに反映させて頂きます。飯舘村復興に向けて一歩ずつ前に進んで参ります。

村民皆様の更なるご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶と致します。

# 迎春

令和六年



7月14日・15日／宮城県仙台市  
勾当台公園

### バル仙台2023



ワインのイベントに日本酒で参戦!『いいたて酒テイストイングリ』で3種を飲み比べ。



大人気で完売した『みそじゃがセット』。郷土料理のみそじゃがに、おいしい村産野菜を添えて。



## おいしい飯館 各地に出張

飯館が誇る食文化を仙台や東京の皆さんにご紹介。

おいしい飯館をどんどん味わって、上書きされずに残っている“風評”の印象を吹き飛ばしていただきます。

『までいな暮らし』に磨かれたおいしいものが飯館村にはたくさんありました。野菜、牛肉、卵、蕎麦、山菜など、新鮮で質の高い食材が豊富にあり、飲食店や食品加工工場のプが、知恵をこらし、手間暇惜しまず、おいしいものをつくらせて村の魅力を高めていました。

で中断しました。中断により非常に多くのものを失いましたが、そこから再び立ち上がった皆さんの力で、二歩また二歩と前進し、現在ではイベントなどで、食の魅力を彩り豊かに発信できるようになっています。

飯館村の食の魅力をさらに多くの方に知っていただきたい!その願いを込めて、各方面の協力を得ながら、PR事業を進めています。

# おいしい飯館を 広めたい!

9月13日～17日／宮城県仙台市  
錦町公園

### 仙台オクトーバーフェスト2023



日替わりで村の事業者が出店しました。左と下の写真は、渡邊とみ子さん(前田・八和木)の『までい工房 美彩恋人』の出店風景。

『Route 227's Cafe』店舗で販売。飯館村産黒毛和牛のスピエディーニ(串焼き)。



ホワイトミネストローネのモニター試食も実施。



生垣に凛と咲くサザンカの花。

### 目次 CONTENTS

- 02 「新年のごあいさつ」
- 04 目次/特集「おいしい飯館を広めたい!」
- 10 議会報告「12月議会定例会」
- 12 学びの広場「こども園生活発表会」ほか
- 14 空から百景「夕暮れイルミ」
- 16 生涯学習「飯館YOITOKO発見!ツアー」ほか
- 17 報告のページ「フットパスイベント」ほか
- 18 いいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 24 いいたてイノサル通信
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてDIARY／村民広報委員コラム
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／写真募集のお知らせ

### 📷 今月の表紙



12月20日にまでのりの里のこども園で開かれた「おたのしみかい」。全園児がホールに集まり、先生方の楽器演奏に合わせて歌ったり、お友達とダンスをしたりして楽しい時間を過ごし、サンタクロースが現れると瞳をキラキラ輝かせてプレゼントを受け取りました。同月2日に開かれた「生活発表会」の様子もP12でご覧ください。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613 までお知らせください。

郷土色豊かで味わい深い料理が来場者を魅了。30食限定の『氣まぐれ定食』完売です。



MIDETTEのキッチンで料理を仕上げる『氣まぐれ茶屋ちえこ』の佐々木千栄子さん(右/佐須)と佐々木かおりさん。



MIDETTEで提供した『飲み比べセット』。気に入ったお酒を購入して行く方も。



### いいたてフェア

8月18日～20日／東京都中央区  
日本橋ふくしまMIDETTE (ミデッテ/福島県アンテナショップ)

## “おいしい飯館”を消費地につなごう 明治大学本所ゼミの活動から



明治大学農学部の本所ゼミは、震災直後から村内で継続するフィールドワークに併せて、産業振興課が進める『人・農・食・いたて』未来へつなぐ事業」にも取り組んでいます。

本所ゼミは、キャンパスが位置する神奈川県川崎市でも、飯館村に関わるさまざまな企画を展開しています。情報の発信、イベントの企画、関係先との調整・商談などをはじめ、食材を生かすメニューを多彩に開発して、産品をより魅力的に消費地に届けています。

川崎市の商業施設で開催されたイベントでは、開発メニューの飲食店展開などを実現しました。準備段階で、学生はもとより飲食店関係者が生産者の元を訪れる機会を設けるなど、人と人がつながり、事業が各人の「自分事」となる環境づくりにも注力。持続・発展を意識した関係形成に努めています。



飲食店スタッフも同行して生産者と交流。

## イベントで新たな魅力を味わってみませんか

村は『地域魅力向上・発信事業』の一環で、「飯館村の農畜産物の安全性やおいしさを直接消費者に伝える」ことを目的に、各地のイベントに出店しています。P 4～5で紹介したイベントもその一部。2月には再び仙台市で、『Route 227's Cafe (ルート227カフェ) 飯館村フェア』を開催します。「おいしい飯館」を再発見できるイベントです。村民の皆さんもぜひお出かけください。

### 飯館村フェア

- 2月1日(木)～29日(木) 午前11時～午後10時  
※食事のラストオーダーは午後9時・ドリンクは午後9時30分
- Route 227's Cafe (ルート227カフェ)  
宮城県仙台市青葉区国分町3丁目1-1



飯館村の農産品を販売する他、特別メニューが味わえます。2月4日(日)は午後6時から「工房マートル」のキャンドルづくりワークショップを開催予定。

関連情報は「飯館村の食と暮らし」サイトで↓



明治大学「生明祭」の『本所ゼミマルシェ』。生産者も来場。お米や野菜、商品も完売。



学生考案の『いたて雪っ娘ジェラートアイス』も登場。↓

千葉大学松戸キャンパスの「戸定祭」。各地の生産品が集まる中に出店しました。



大阪大学「まちかね祭」での販売は、浜通りを応援するサークル『はまでいず』が企画。



福島大学「福大祭」では食農学類と大黒ゼミがコラボして産品をよりおいしく提供。



「イータテバイク」のポタージュや「あぶくまもち」のおはぎなどを販売しました。

飯館村とつながる各大学の大学祭で、産品を販売していただきました。

## おいしい飯館を各地にお届けしています

令和5年4月から11月の物販イベント

- 1 4月 春日部藤まつり(埼玉県春日部市「ふじ通り」)
- 2 6月 ふくしまフェスタ in 恵比寿ガーデンプレイス(東京都渋谷区)
- 3 7月 バル仙台2023(宮城県仙台市「勾当台公園」)
- 4 8月 日本橋ふくしまMIDETTE いたてフェア(東京都中央区)
- 5 9月 仙台オクトーバーフェスト2023(宮城県仙台市「錦町公園」)
- 6 9月 東北3県ふるさと市(東京都中央区「銀座駅」)
- 7 9月 ハイウェイフェスタとうほく(宮城県仙台市「勾当台公園」)
- 8 10月 日本で最も美しい村まつり in TOKYO TORCH(東京都千代田区)
- 9 11月 つながるフェスタ(福島県福島市「道の駅ふくしま」)
- 10 11月 第60回目黒区商工まつり(東京都目黒区「目黒区民センター」)
- 11 11月 よい仕事おこしフェア(東京都江東区「東京ビッグサイト」)
- 12 11月 明治大学 生明祭(神奈川県川崎市)
- 13 11月 大阪大学 まちかね祭(大阪府豊中市)
- 14 11月 千葉大学 戸定祭(千葉県松戸市)
- 15 11月 OBCラジオまつりふれあい広場2023(大阪府大阪市「大阪城公園」)

※掲載イベント以外にも生産者さんによる出店が多数あります。

福島市で開催された『つながるフェスタ』。新ブランド『Cocitto(コチット)』のケーキが登場。



コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となった『春日部藤まつり』。藤棚の下で来場者にPR。



『OBCラジオまつり』は来場者の皆さんに飯館村を知っていただく機会ともなりました。



■ SHIRUBE (シルベ)  
アロマブランドが開発したホーリーバジルティー。清涼感のある香りで、ふうとリラックスを。



Instagram



■ Cocitto (コチット)  
飯館村の食材の新たな魅力に気づかせてくれるギフトケーキブランド。



Instagram



■ リファール  
自社で栽培する野菜などを使った瓶詰めピクルス「いいたての。」を好評発売中。



Instagram



生産者が手塩にかけた米や蕎麦粉が、道の駅までい館にて販売されています。



■ 山際食彩工房  
飯館産黒毛和牛を使用した商品を開発。道の駅までい館で購入できます。



手をかけまでいにつくられる凍み餅。生産者それぞれの味わいを食べ比べすることもできますよ。



■ 極久里珈琲  
「煎りたて、挽きたて、淹れたて」の「よいコーヒー」を福島市の店舗で提供しています。



ホームページ

■ までい工房美彩恋人  
カボチャ「いいたて雪つ娘」の特長を生かした魅力的な商品が、多くのファンを獲得しています。



ホームページ



■ ニコニコ菅野農園  
ナツハゼを栽培・研究し商品化を推進。多彩なラインアップを展開しています。



ホームページ

■ 村カフェ753  
「きなこる飴」は、素朴でやさしい飯館産のきな粉の飴。製造は自立研修所ビーンズ(南相馬市)が行っています。



ホームページ

いいたて村の道の駅までい館は、毎週水曜日が定休日。また12月31日～1月3日は年末年始の休業日です。お買い物の際にはご注意ください。

SHIRUBE (シルベ)、Cocitto (コチット)、リファールのピクルスは、までい館での取り扱いがありません(令和5年12月20日現在)。イベントやインターネット販売で購入できます。



■ いいたて結び農園  
までいに育てたエゴマの実やエゴマ油、蕎麦粉などを手がけます。



ホームページ



こだわりの日本酒、人気のどぶろく。道の駅までい館でも販売されています。



ホームページ

■ 鮎川農園  
白米によく合うと評判のもち麦「はねうまもち」。おいしいお菓子にもなっています。



# 令和5年 第8回飯舘村議会定例会



令和5年12月議会定例会は、12月8日から15日までの日程で開かれました。一般質問は12、13日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。  
議案審議は15日に行われ、提出された議案はすべて原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案など

- 令和5年度  
一般会計補正予算
- 令和5年度国民健康保険  
特別会計補正予算
- 令和5年度簡易水道事業  
特別会計補正予算
- 令和5年度介護保険  
特別会計補正予算
- 令和5年度後期高齢者医療  
特別会計補正予算
- 飯舘村簡易水道事業の設置等  
に関する条例
- 飯舘村農業集落排水事業の  
設置等に関する条例
- 村長等の給与及び旅費に関する  
条例等の一部を改正する条例
- 飯舘村国民健康保険条例の  
一部を改正する条例

東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事（市沢第1ため池）請負契約の変更について

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事（野沢ため池）請負契約の変更について

農業水利施設等保全再生事業ため池放射性物質対策工事（笹峠第2ため池）請負契約の変更について

飯舘村第6次総合振興計画の変更につき議決を求めることについて

飯舘村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

紙面の都合上、一部省略しています。

## 村長村政報告

### 「日本で最も美しい村」連合

9月28日から29日にかけて、加盟の再審査がありました。これは、「日本で最も美しい村」連合に加盟する全団体が5年に1回審査を受けるもので、飯舘村は震災等の理由から、これまでの審査を免除されていたため、平成29年9月に加盟してから初の審査会となりました。

今回は、区長会において地域の草刈りなどの協力をお願いし、村の景観美化に努めたほか、村のこれまでの取り組みを紹介することで、「村民一人ひとりの取り組みが美しい村の形成に寄与」していることをPRしました。その結果、10月26日付けで審査結果が届き、継続加盟が承認されました。

### 「いいたて秋まつり・冬まつり

10月22日に「道の駅までい館」で、村商工会の主催で「いいたて秋まつり」を開催しました。キャラクターショーをはじめとしたステージイベントや村内の特産品等が当たるお楽しみ抽選会などが開催され、多くのご来場の皆様に

楽しんでいただきました。

また、11月25日には「いいたて冬まつり」を実施しました。昨年度に引き続き第2回目となるジャズフェスティバル、様々なワークショップの開催や、イルミネーション点灯式、冬の風物詩となった「いいたて冬の花火」の開催など、こちらも多くの皆様にご来場いただきました楽しんでいただきました。

### 村民の帰還状況

11月1日現在の村への帰還者は637世帯、1216人で帰還率は約25.8%です。これに、震災後の転入者261人と、いいたてホームの入所者等を合わせ、村内の居住者は813世帯で1534人です。

避難を継続している方は、県外に156人、福島市に2001人、南相馬市に280人、伊達市に247人、川俣町に231人など、合わせて3022人です。

### ふるさと帰還通行カード

4月17日に受け付けを開始したからのカード更新申し込み件数は、10月31日現在、1695件です。11月1日より新しいカードに移行したので、更新手続きをしていた

だくよう周知していきます。

### 新型コロナウイルス接種

新型コロナウイルスは、令和5年5月8日に感染症法上5類感染症に移行しましたが、ワクチン接種は引き続き自己負担なしで、令和6年3月末まで接種できるようになっています。

今年度の秋接種については、初回接種を終了している生後6か月以上の方が対象で、そのうち12歳以上については9月から村内「いちばん館」で集団接種を実施し、これまでに535人の接種が完了しています。

「いちばん館」での集団接種と避難先自治体での接種を合わせると、11月末現在で977人の接種が完了しています。ワクチンが全国的に不足しており、村においても十分なワクチンが確保できないことから、村の集団接種を見合わせた月もありましたが、12月からは予定どおり開催できる見込みです。

### 出産に対する支援について

妊婦や子育て家庭への支援策として、妊娠時5万円、出産時

5万円を給付する「出産子育て応援支援金」に加え、今年度からは新たに出産時に20万円を給付する村独自の「赤ちゃん誕生祝金」を創設しており、これまでに3名の方に計60万円を支給しています。

### 八木沢養豚施設

被災地域農業復興総合支援事業により八木沢地区に整備を進めてきた養豚施設について、10月31日までに整備工事及び完了検査等が終了し、11月1日付けで有限会社大空ファームと村有施設等使用貸借・管理運営委託契約を締結しました。施設を適正に管理運営していただきながら、村の新しいブランドづくりに向けた養豚業に力を入れていただけるものと期待します。

### 森林関係

平成29年度から実施している森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を活用しての森林整備事業を今年度も実施し、地域住民協力のもと、あいの沢周辺において清掃、枝打ち、下刈り等を週3回の頻度で実施

### 建設関係

村営住宅関係の村内における入居状況については、入居可能戸数111戸に対して、100戸158人が入居しており、うち65歳以上の割合が31%です。

農地の基盤整備事業は、早期完成に向けて、17の行政区で29件の工事を発注しています。

また、ため池放射性物質対策工事については、12か所のため池で今年度内の完成に向けて工事を進めています。また併せて5か所のため池補修工事を進めています。

学園NEWS!

### 前期課程のいいたて学 収穫したお米が給食に

12月11日、いいたて希望の里学園の給食に、前期課程の児童が「いいたて学」で田植えと稲刈りを行った「コシヒカリ」の新米が登場しました。この日の給食には飯館産の大根とネギ、じゅうねん(エゴマ)も使われており、ふるさとの農産物をたっぷり味わう献立でした。森永正男さん(前田・八和木)をはじめ、活動をサポートしてくださったボランティアの皆さんにも食べていただき、1~6年生全員が感謝の手紙を手渡しました。また、自分で収穫したお米を食べた感想を「すごくおいしかった」「食器よりもお米が白かった」などと発表しました。



手紙を受け取ったボランティアの皆さんも「みんなからパワーをもらいました」と感謝の言葉で応えていました。

### 4年生が見学学習 村の産業を学びました

12月6日、いいたて希望の里学園の4年生が見学学習を行いました。「いいたて学」の一環で、村の産業について学びます。訪れたのは、飯館村森林組合が森林再生事業を進める深谷地区の現場。機械で大きな木を切ったり、木を倒したりする作業を間近で見学しました。「何のために木を伐採するのか」「伐採した木はどこに行くのか」など興味津々の様子。森林の役割や森林組合の仕事について学習しました。また、11月30日には、有限会社濱田石材工業を見学し、石材業についても学びを深めました。



迫力満点の大きな機械を前に、真剣な眼差しでタブレットに記録したり、目に焼きつけたりする児童達。

### 人権作文コンテスト 山田ゆりさんが奨励賞

12月14日、いいたて希望の里学園で、「第42回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会」の表彰伝達式が行われました。学園内の多数の応募から選抜された山田ゆりさん(8年生)の作文が、県大会で見事奨励賞に輝きました。山田さんは夏休みに作文に取り組み、幼少期の経験を通して感じたことから、人権の重要性や必要性について学んだ自身の経験を作文に書いたそうです。今回、相馬地区の1,178点の応募作品から福島県大会に進んだのはわずか6点でした。



左から、宗像邦勝福島地方務局相馬支局支局長、山田さん、亀田邦弘校長先生。

こども園NEWS!

### までのりの里のこども園 笑顔輝く『生活発表会』

12月2日に『生活発表会』を行いました。保護者の皆さんを迎え、一人ひとりの園児が、発表を通して成長した姿を披露しました。

それぞれ野菜になりきって、個性豊かに表現しました。



つぼみ組(1歳児)の表現遊び「やさいさん」



わかば組(0歳児)の表現遊び「かわいいかくれんぼ」

家族が見守る中、お返事や楽器遊びを披露！すごいなあ。

お友達と力を合わせ笑顔いっぱい。の発表。ダンスも素敵でした。



たいよう組(3歳児)の音楽劇「おもいをどうぞ」



はな組(2歳児)の劇遊び・ダンス「3匹の虫とかいじゅう」

元気がいっぱいステージ。手作りギターかっこいいね！

さすがの連携を見せた年長さん。「タネ」の知識に会場もびっくり。



そら組(5歳児)の創作劇「ふしぎなたねやさん」



つき組(4歳児)の創作劇「おおきな さつまいも」

サツマイモを育てた経験を盛り込んだ創作劇を堂々と発表。

今回の発表会は、時間を分けて「3歳未満児の発表」と「3歳以上児の発表」を行いました。観覧も密集を避け、1家庭4人まででお願いしました。そうした状況を踏まえ、離れて暮らす祖父母の皆さんなどにもご覧いただけるよう、ウェブ会議用のアプリケーションを活用し、事前登録をしたご家庭に向けて発表会の中継を行いました。ご視聴いただいた皆様、ありがとうございました。この中継は初の試みで、実施状況を検証し今後の取り組みにつなげます。



3歳以上児全員による合奏「山の音楽家」

合奏に続き歌「ありがとうのつばい」も披露。会場は感動でいっぱい。

夕暮れの中、「ふかや風の子広場」にイルミネーションが灯り始めます。刻々と配色を変える空のグラデーション。温かな光が調和して、景色が塗り替えられていきます。そして気づけば夜の気配が濃くなって、イルミネーションが一層カラフルにきらめき出します。この日は仕事帰りの人や家族連れが訪れて、光に包まれ散策を楽しんでいました。飯館村商工会青年部の皆さんが自分たちの手で企画・設営を行っているやさしい光のイベントです。点灯は荒天時を除く毎日午後4時から9時までで、1月14日が最終日です。





## 歩いて楽しむ復興探究事業『フットパスコース』お披露目イベント



村は今年度、福島県観光物産交流協会が進める「フットパス造成事業」に取り組んでいます。「フットパス」とは「地域のありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径」のことです。村のコースづくりは7月からスタートし、村民委員の協力も得て、村らしさが味わえる、歩いて楽しいコースを策定しました。12月2日には、コースのお披露目イベントが開催され、関係者や一般参加者約40人がフットパスコースを実際に歩いて楽しみました。

ゴールの交流センター「ふれ愛館」では、安達太良山の山小屋「くろがね小屋」のカレーが振る舞われ、参加者がコースの感想やフットパスの魅力を語り合いました。



①綿津見神社の階段を登る参加者。厳かな雰囲気味わいながら。②深谷復興拠点エリアを経由し交流センターへ。③特別ゲストとして参加していたタレントのなすびさんらがこのコースの魅力を掘り下げトークを展開。④参加記念のプレゼントは、イイタネちゃんが刺繍されたオリジナルマフラー。⑤昨年度に取り組みを進めた他市町村と情報を共有。⑥「くろがね小屋」管理者が来館し参加者にカレーを提供。⑦振る舞われたのは、飯館産黒毛和牛を使った特製カレー。

## 第6次総合振興計画 後期計画 審議会が答申書を提出



「村民と目標を共有できる、よりよい計画に」と杉岡村長へ答申書を提出する高橋会長(深谷)。

「第6次総合振興計画後期計画」の策定に向け、諮問事項の検討を行ってきた「第6次総合振興計画審議会」の答申がまとめられ、12月1日、高橋祐一会長(深谷)より村長に答申書が提出されました。村民や有識者から構成される同審議会は、住民懇談会やパブリックコメントで村民から出された意見を踏まえ、2度にわたる会議で計画案を審議しました。

答申を受けて、村は「第6次総合振興計画後期計画(案)」を12月議会に提出。承認を受け、同後期計画は成案となりました。

## 第5回飯館YOITOKO発見!ツアー

11月26日、『第5回飯館YOITOKO発見!ツアー』を開催しました。『村内1日体験バスツアー』との合同開催で、村内外の31人が参加しました。

長泥地区では白鳥神社や、環境省が実施する「長泥地区環境再生事業」の現場を視察。長泥コミュニティセンターで行われた詩人・和合亮一さんによる詩作のワークショップでは、見て来たばかりの長泥の光景を詩に詠む人もいました。午後は、上飯樋地区に伝わる「宮仲の神楽」を鑑賞し、山田豊さん(関根・松塚)が経営する精肉店「肉のゆーとびあ」で飯館産黒毛和牛を試食。参加者の皆さんは、それぞれの場面で復興の動きを実感し、想いを語り合っていました。



①長泥地区の白鳥神社にて。前区長で神社の維持に尽力した鳴原良友さんから話を聞きました。②環境再生事業の実証を行う花卉ハウスを視察。③和合亮一さんのワークショップ。④「肉のゆーとびあ」にて。

## 交流センター自主文化事業 クリスマスコンサート



「浅利史花カルテット」

12月9日、交流センター「ふれ愛館」でクリスマスコンサートが開かれました。福島高校ジャズ研究部のフレッシュな演奏で開幕したのに続き、同部出身のギタリスト・浅利史花さんが登場。オリジナル曲を含むジャズのナンバーを披露しました。さらには4年連続の出演となる近藤淳さんらが加わりクリスマスソングの数々を演奏。ドリンクとお菓子が用意された客席には約60人が集い、上質な音楽に包まれ交流のひとときを楽しみました。



近藤淳さんをヴォーカルに迎えて。



「浅利史花カルテット」と福島高校ジャズ研究部のセッション。

## 菅野富茂さん瑞宝双光章 来庁して受章を報告



勲章と賞状を掲げる菅野さん。右端は五賀和広相馬地方広域消防本部長、左端は横山義幸同飯館分署長。

第41回危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章を受章した菅野富茂さん(伊丹沢)が、12月5日、受章報告に来庁しました。菅野さんは、相馬地方広域消防職員として42年間にわたり奉職。早期復興を目指す管内の防災力強化に力を尽くしました。菅野さんは、11月13日に東京會館(東京都千代田区)で鈴木淳司総務大臣(当時)から伝達を受け、皇居にて天皇皇后両陛下に拝謁したことなどを報告。「上司・先輩・同僚・後輩さらには消防団はじめ地域住民の支援のおかげ。受章に恥じない人生を歩んでいきたい」と感謝を述べました。

## 復興創生専門員 万福さんへ 村から感謝状を贈呈



「新しい知見を学び関わるのが職員の財産となります」と杉岡村長がこれまでの功績に感謝を伝えました。

11月30日、飯館村復興創生専門員を務める万福裕造さんへ感謝状を贈呈しました。万福さんは震災後、農水省職員として村役場飯野支所に駐在。平成29年からは農研機構(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)上級研究員となり、大火山の太陽光発電事業や蔵平の木質バイオマス発電施設整備事業、長泥の環境再生事業などに、専門的な視点から助言をいただきました。万福さんは「これまでの経験を生かし支えになれるよう努力していきたい」と復興に寄与する決意を語りました。

## 大林・東亜・大本JV 交通安全活動に村から感謝状



林副支店長(前列左から2人目)をはじめとする大林組の皆さん、飯館村交通対策協議会の代表らが出席。

12月14日、村は「大林・東亜・大本特定建設工事共同企業体(JV)」に感謝状を贈呈し、令和2年から今日までの交通安全活動に謝意を伝えました。環境省が発注した長泥地区環境再生事業盛土等工事に携わってきた同JVは、カーブミラーの拭き取りや交差点での呼びかけなど、企業体内はもとより村全体の交通安全活動に取り組んできました。贈呈式では杉岡村長が「村民を代表してお礼を申し上げます」と述べ、大林組東北支店の林圭一副支店長に、感謝状と村製品の記念品を手渡しました。

## 鳥獣対策講習会 村の事例を踏まえ対策を講習



写真や図を示しながら解説する鉄谷さん。参加者もさまざまな疑問や課題について積極的に質問しました。

12月7日、交流センター「ふれ愛館」で、『鳥獣対策講習会』を開催しました。今年度2回目の開催です。福島県避難地域鳥獣対策支援員で広報紙に「イノサル通信」を執筆している鉄谷龍之さんが講師を務めました。講習会では、村内で見られる動物とその被害に関する具体例を見ながら、被害を防ぐための柵の設置方法や管理の注意点を確認しました。また、鳥獣対策の考え方を共有し地域全体で取り組むことの重要性などを教えていただきました。

## 年末年始に向けて 事件事故防止キャンペーン



村内事業所に加わり、大林組の皆さん(上の記事を参照)もハンドプレートで交通安全を呼びかけました。

12月14日、『年末の事件・事故防止に係る街頭キャンペーン』を実施しました。キャンペーンには、南相馬警察署、飯館村防犯指導隊、南相馬地区交通安全協会飯館分会、飯館村交通指導隊など関連機関の皆さんが集まり、村内事業所も参加しました。防犯意識を高めていただく啓発グッズの配布はいいたて村の道の駅までい館や金融機関で、交通安全の呼びかけは県道原町川俣線で行いました。年末年始は犯罪や事故が増加する傾向にあります。声を掛け合い、警戒や対策を心がけましょう。

## 子育て支援センターで ベビーマッサージ教室



講師の瀧野さん。



ほんわか暖かな部屋で照明を少し弱めて…ママも赤ちゃんもリラックス。ゆったりとベビーマッサージを体験。

12月14日、飯館村子育て支援センターで、『ベビーマッサージ教室』を開催しました。講師は福島県助産師会の瀧野ゆかりさんです。教室は、ママのストレッチからスタートし、スキンシップの大切さや効果などを教わりながら、4組の親子がベビーマッサージを体験しました。体験の後には交流の時間が設けられ、打ち解けておしゃべりを楽しんだ皆さん。「母子共に気分転換になりました」「また参加したいです」と笑顔で話していました。

古居みずえ監督作品の上映会です。



### 避難の実像伝えるドキュメンタリー映画

12月17日、交流センター「ふれ愛館」で、飯館村婦人会が、映画『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』の上映会を開きました。震災直後から飯館村取材する古居みずえ監督が、故・菅野榮子さん(佐須)と菅野芳子さん(佐須)の避難と苦悩、支え合う友情を丹念に記録した映画です。観客は映画の中の2人と共に泣き笑い、原発避難の苦しみを背負い歩んだ道のりを、改めて心に刻んでいました。

会場スピーチする古居監督



上映後の会場で観客の質問に答える本田先生。

### ガザ地区で取材された映画を上映

12月3日、交流センター「ふれ愛館」で、映画『ぼくたちは見た』が上映されました。パレスチナ・ガザ地区を取材した古居みずえ監督のドキュメンタリー映画で、平成23年に発表された作品です。上映は、監督と旧知の間柄である「いいたてクリニック」の本田徹先生(伊丹沢)が企画し、NPO法人ふくしま再生の会(田尾陽一代表/佐須)などが協力しました。映画を通して紛争の現実を目の当たりにした観客は、感じたことを語り合い、現地の人々に思いを寄せました。



### 被災地の前進を祈る312枚の写経

12月、村に般若心経の写経312枚が届きました。贈ってくださったのは福島県出身の門馬茂さんです。被災地に心を寄せ、「何か自分にできることは」と写経を始めて10年。避難地域の市町村それぞれに312枚を書き上げました。「3.11」からの前進を意味する「312」枚に、復興への祈りが込められています。

長い歳月をかけ1枚1枚をしたため、飯館村へ想いを届けてくださり、ありがとうございます。



※神代さん撮影の動画から。

### 特別天然記念物のトキが飛来

11月25日、特別天然記念物のトキの飛来が、村内で初めて確認されました。目撃されたのは、いいたて村の道の駅までい館の周辺で、道の駅の副駅長・神代憲男さん(大久保・外内)がスマートフォンで撮影。環境省佐渡自然保護官事務所により、トキであることが確認されました。トキはその後1週間ほど同じエリアに現れ、水田で餌をついばむ様子が目撃されました。村の環境を気に入ってくれるといいですね。トキを見かけた際は、遠くからそっと見守りましょう。



所在地:飯館村飯樋字大火115-3

### くまさんが「つどい茶屋」をオープン

音楽イベントの企画・出演などを通して村の音楽シーンを盛り上げる“くまさん”こと佐藤祐喜さん(上飯樋)が、自宅の一部を改装し、音楽スタジオに続いて『つどい茶屋 JAZZ喫茶くま』をオープンしました。当面は午前9時から午後6時まで、日曜定休(臨時休業あり)で営業。1月1日から14日には「開店記念週間」(12月31日に前夜祭)を予定しています。また、周囲の要望に応じて、ついにドラム教室をスタートしたそうです。詳しくは、くまさん ☎090-1513-1917まで。



### エゴマラーメン膳

月に1回「までいな家」で、「飯館までい文化事業団」が福島大学大黒ゼミと共同開催している『村民食堂』。そのスピンオフ企画が11月25日に実施され、郡山女子大学の学生が考案した『エゴマラーメン膳』が販売されました。エゴマの研究を行う同大学の郡司尚子准教授やメニューを考案した学生達が、直接調理や接客を担当。開店前に「いいたて結い農園」のエゴマ生産者が招かれ交流した他、多くの人が来店し、膳に並んだ多彩なエゴマ料理を楽しみました。



### 芸能発表祭で仮装盆踊りを披露

11月22日、「郡山ユラックス熱海」で『第27回福島県高齢者芸能発表祭』が開催されました。村からは回り番で旧石橋村エリアからの出場。二枚橋・須萱行政区の『20寿会』が、相馬盆踊りを仮装バージョンで披露し、会場を大いに盛り上げました。お見事!



優勝  
男子ダブルス 須長哲哉・木村竜一(郡山市)  
女子ダブルス 横田理恵・酒井美穂(郡山市/亍理町)  
混合ダブルス 梅原智也・横田理恵(郡山市)

### 「バドミントン交流会」10周年記念大会

『第10回いいたてバドミントン交流会』が、11月26日、「いいたて希望の里学園」体育館で開催されました。「いいたてスポーツクラブ」の主催、「シャトルフレンズ」の共催。交流人口の拡大や賑わいづくりを目的に、毎年開催を続けてきました。10周年の記念大会には、村内外の約45人が参加。熱く楽しく、トーナメント戦で優勝を競いました。運営を担う大澤和巳さん(上飯樋)は「今後も村民の皆さんとバドミントンを通して交流を深めたい」と節目を心に刻んでいました。

## 飯館村公式LINE

お友達登録ありがとうございます

飯館村公式LINEのお友達登録をありがとうございます。10月の開設以来、機能を追加しながら運用しています。12月からは、県道沿い6か所に設置されているカメラの映像が確認できるようになりました。冬道の状況確認に、ご活用ください。

飯館村公式LINEは、イベント情報などをタイムリーにお知らせ。広報紙の紙面も発行日にアップしています。また、飯館村ホームページ、公式フェイスブック、インスタグラムにもアクセスできます。未登録の皆様は、右のQRコードから、ぜひご登録を。

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613



村の各サイトにアクセスできます。県道カメラもこちらから。



イベント情報など、各種お知らせがタイムリーに届きます。

広報紙も発行日にアップ。タップで開いて紙面をチェック。



新規登録はこちらから。ログイン画面の受信設定で、必要な情報のみを受け取る設定にすることも可能です。

## 12月の村の動きと主なできごと

- 28日・仕事納め(村役場)
- 21日・家族介護者の集い(交流センター「ふれ愛館」)
  - ・ 定例教育委員会(村役場)
- 20日・農業委員会定例総会・農業委員会意見書提出(村役場)
  - ・ しいたてのうしを考える意見交換会(交流センター「ふれ愛館」)
- 14日・大林・東亜・大本特定建設工事共同企業体 交通安全感謝状贈呈式(村役場)
  - ・ 年末年始の交通事故防止に係る街頭キャンペーン (しいたての道の駅までい館・村内金融機関)
- 13日・福島県立医科大学保健科学部 実習(しいたてホーム)
- 11日・学校田で収穫した米の給食(しいたて希望の里学園)
- 10日・第2回長泥地区将来構想検討委員会(福島県青少年会館)
- 9日・交流センター自主文化事業「クリスマスコンサート」(交流センター「ふれ愛館」)
- 9日・移住定住検討者向けモニターツアー「つながるミチシル旅」第3弾(村内各所)
- 8日・第2回鳥獣対策講習会(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・菅野富茂さん瑞宝双光章 受賞報告(村役場)
- 8日・国道399号線あぶくまロマンチック街道の整備に関する要望活動(県庁)
- 8日・新型コロナワクチン集団接種(いちばん館)
- 8日・令和5年度飯館村防災訓練(飯館村地域防災センター)
  - ・ 歩いて楽しむ復興探求事業「フットパスコースお披露目イベント」 (交流センター「ふれ愛館」)
- 4日・第25回飯館村災害弔慰金審査会(福島県青少年会館)
- 5日・菅野富茂さん瑞宝双光章 受賞報告(村役場)
- 6日・国道399号線あぶくまロマンチック街道の整備に関する要望活動(県庁)
- 7日・第2回鳥獣対策講習会(交流センター「ふれ愛館」)
- 8日・令和5年度飯館村防災訓練(飯館村地域防災センター)
  - ・ 歩いて楽しむ復興探求事業「フットパスコースお披露目イベント」 (交流センター「ふれ愛館」)
- 2日・令和5年度飯館村防災訓練(飯館村地域防災センター)
  - ・ 人権擁護委員特設人権相談(交流センター「ふれ愛館」)
- 1日・第2回第6次総合振興計画審議会及び答申(村役場)

畜産農家と関連機関による『しいたてのうしを考える会』が発足しました。12月14日、村が交流センター「ふれ愛館」で開いた意見交換会に合わせて、会の発足について協議が行われ、当日付けの発足が決定したものです。今後は会として、よりよい経営や今後のブランド化の考え方などについて意見を交わし、勉強会も行っていきます。この日は日本草地畜産種子協会の新出昭吾さんを講師に、飼料自給についての講演も行われました。また会長には「そうま和牛改良組合」飯館支部長の松林正治さん(伊丹沢)が選ばれました。



飯館村の畜産の活性化を目指して『しいたてのうしを考える会』発足

①当日参加の皆さん。前列中央が松林会長。②新出さんの講演。③講師への質問や意見交換も活発に。

## 飯館村地域防災センター 「飯館村防災訓練」を実施

12月2日、飯館村地域防災センターで、『飯館村防災訓練』を実施しました。震災後初、平成22年以来の実施です。防災センターが位置する飯樋地区の4行政区をはじめ、消防飯館分署、飯館村消防団、飯館村社会福祉協議会、村役場など関連団体が参加して、さまざまな訓練を行いました。村は今回を足がかりに、防災訓練を継続的に実施し、地域の防災力を強化したいと考えています。

〈訓練時の想定〉「当日午前8時に飯館村で震度7の大地震が発生し、建物の倒壊、倒壊家屋からの火災発生などにより住民が避難を要する状況」を想定して訓練を行いました。

- 〈訓練種目〉
- ① 応急救護訓練 応急担架作成、心肺蘇生・AED、応急手当
  - ② 視界不良訓練 濃煙体験(スモークマシーンで煙を発生)
  - ③ 避難所設営展示 簡易ベッド・簡易トイレ組み立てなど
  - ④ 防災備蓄展示 備蓄例の展示、非常食の試食
  - ⑤ 炊き出し訓練 大鍋豚汁(飯館村赤十字奉仕団)



消防飯館分署による心肺蘇生の講習。



応急担架の作成方法を実習。



濃煙を発生させて、視界不良訓練。



簡易ベッドなどの作成方法を講習。



防災用品を展示。非常食の試食も。



赤十字奉仕団による炊き出し訓練。

## 二宮仕法の実践

### 歴史の散歩道

凶作により東北地方を中心に全国で多くの人が餓死した天明の大飢饉。相馬中村藩は幕府から5千両を借り入れ、領民への食料給付や養育料支給、移民の受け入れなどに取り組みました。現在の飯館村が位置する山中郷の被害はより深刻で、年貢米が数年にわたり免除されています。藩は儉約令を出し、備蓄にも力を入れました。備えが功を奏し、後の天保の大飢饉では藩内に1人の餓死者も出さなかったと伝わります。しかし備蓄が底をつき財政はひっ迫。藩はさらなる打開策を求めて弘化2年(1845年)、藩政に二宮仕法(御仕法)を取り入れました。二宮仕法は、二宮尊徳が主導した復興政策です。二宮尊徳自身が相馬地方を訪れることはありませんでしたが、藩士で二宮尊徳の

弟子であった富田高慶が指導にあたりました。二宮仕法の実践は、城下に近い2村から始まり、投票による善行表彰、困窮者の救済、農業の助成、開墾の奨励、堤・用水堀の整備、植林など多岐にわたる事業を行うことで、農民の意欲を育て生産力を向上させました。二宮仕法は明治4年(1871年)の廃止まで27年間、藩内226村の内101村で実施され、55村で完了しました。飯館村では完了には至らなかったものの草野村で二宮仕法を実施した記録が残っています。また当時普請されたとみられる堤やため池が村内に広く存在します。村は、二宮尊徳にゆかりのある市町村が集う「報徳サミット」にも毎年参加をしています。



「報徳サミット」の開催地はゆかりの市町村の回り番。今年は11月に静岡県御殿場市で行われました。



村には江戸時代に築かれた堤が17(中期4、後期13)あります。写真は外内の堤。改修された現在の姿。

2024年もたくさんの方に利用いただけるよう生涯学習事業を計画していきますので、図書への貸し出しはもちろん、生涯学習事業にもぜひご参加ください。

認知症という言葉はよく耳にしますが、認知症の方への接し方について聞かれると不安になる方もいるはず。この本は、認知症の方の症状(軽度〜重度)と90の困りごとへのヒントが書かれています。ぜひ手に取って認知症への理解を深めましょう。



「認知症の人の困りごと解決ブック」  
稲田秀樹 著  
中央法規 発行

おすすめ図書を紹介します

### ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

## 9 いいたて イノサル通信

### イノシシの痕跡 増えた?減った?

～避難12市町村イノシシ痕跡調査結果～

私たち支援員は、2019年から毎年秋に人の生活圏周辺でイノシシ痕跡調査を行っています。今回は、その調査結果をご報告します。

**目的** 痕跡を調べることで、人の生活圏周辺での出没状況や遭遇等のリスクを把握する。

**方法** 住宅地や農地周辺を歩き、道路沿いにあるイノシシの痕跡を記録する。調査距離100mあたりの痕跡の数を計算し、場所や年で、増減を比べる。

※記録するのは調査した道路から幅3mのみで、道路から離れた農地等にある痕跡は記録していません。

#### 記録する痕跡の例



掘り返し



足跡



糞



こすり跡

#### 2023年の調査結果

今年は、飯館村内を約72.5km調査し、467個の痕跡を記録しました。結果を地図で見ると、村の中央部でいくつか痕跡の多い場所がありました。一方、北側では比較的少なかったです。また、避難指示が解除されて間もない長泥地区には、多くの痕跡がありました。

#### 全体と村での変化

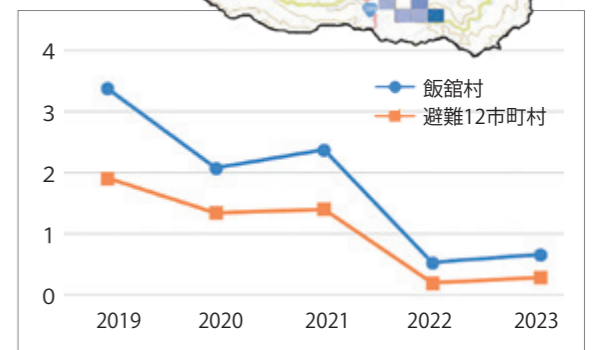
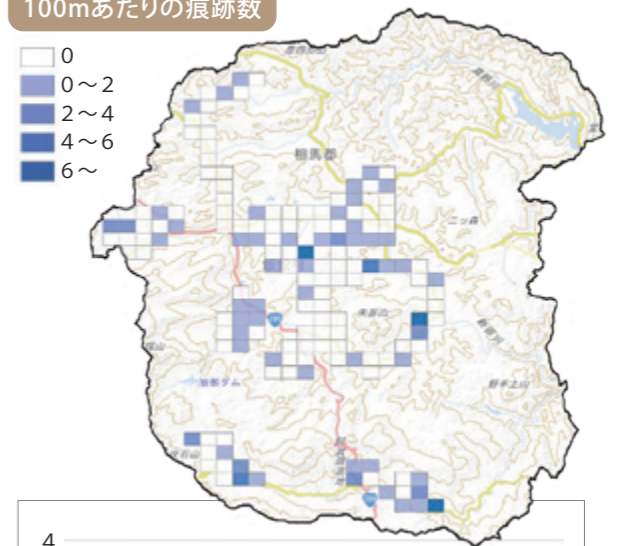
避難12市町村全体と飯館村では、同じような傾向で変化していました。調査を始めた2019年は、全体でも飯館村でも、最も多く、そこから2022年までは減少しています。その原因ははっきり分かっていませんが、イノシシやブタがかかる伝染病である豚熱が影響していると言われています。2019年と2022年を比較すると全体では、1/10程度になっています。

ですが、2022年と2023年を比較すると、全体でも飯館村でも、少し増加しています。おそらく、イノシシの頭数が回復し、出没が増えてきてしまったと考えられます。

このような調査により、非常に大まかではありますが、イノシシの状況を推測できます。今後も支援員は、村と協力し、イノシシによる被害が増えないよう対策していきたいと思っています。

#### 100mあたりの痕跡数

0  
0~2  
2~4  
4~6  
6~



イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。

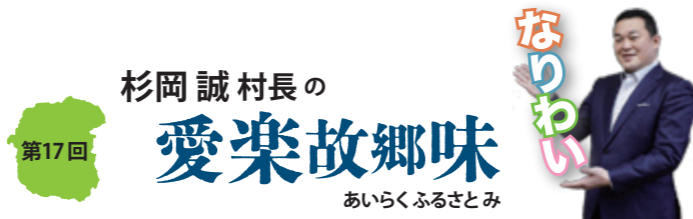


#### 福島県避難地域鳥獣対策支援員

てつ や たつゆき  
鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。

子ども達の笑い声があふれ  
大人がやりがいを実感する村に



第17回

杉岡 誠 村長の  
**愛楽故郷味**  
あいらくふるさとみ

「年男」の今年です。「辰」の如く、村が力強く隆盛する一年となるよう、精進致します。

皆さまにとりましても、ワクワクに満ちた楽しく豊かな一年でありますよう、お念じ申し上げます。

私の元旦は、毎年「修正会」(しゅしょうえ)から始まります。一年のご恩とご縁に感謝し、心新たに聴聞(ちようもん)につとめる中で「愛楽故郷味」の新年を誓う時です。

12月は多くの皆さまから活動報告を受けました。皆さまのふるさとを想う気持ちが結実して、大きな躍動を生んだ一年となったことを実感しました。お一人おひとりが「飯館村」で「楽しむこと」、「飯館村」を「楽しむこと」が、まさに形となつてきています。私自身、村内外の多くの方々、笑顔に触れる機会をいただき、とてもワクワクした一年を過ごすことが出来ましたこと、心から感謝申し上げます。

本年は、「なりわい」の推進にさらに力を入れて参ります。

「なりわい」は「生業」とも書きます。調べてみると「生計を立てるための仕事、家業、職業」と解説されることが多いようです。でも私は「生きがい、やりがいを実感する業(わざ)」という意味で使っています。子育てのため、家族団らんのため、自分がやりたいことのためなど、様々な「く」のため「なりわい」があると思っています。

そんな様々な「なりわい」づくりに、村民の皆さまとともに村全体で取り組んでいきたいと思えます。

なお今、村は特に「働く場づくり」を強力に、また急速に進めています。これは、子ども達の笑い声にあふれ、やりがいを実感する大人達が賑わい、生きがいを見つけ楽しむ方々が集う村になるための第一歩だからです。

行政的に言えば、企業誘致や起業支援、産業振興、産業創生という言葉になりますが、将来にわたって飯館村が飯館村であり続けるために、今必要なことを、時を逃がさず、しっかりと努めていくことが必要です。で、どうぞより一層のご理解、ご協力を賜れば幸いです。



地域おこし協力隊 横山 梨沙さん

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
森 永 卓 弥 さん	前田・八和木
鈴木 瑠 美 さん	郡山市

HAPPY WEDDING!



ひとのうごき 令和5年11月30日現在

人口	今月(前月比)	11月1日~30日までの人口動態
●男	2,358人(-13)	転入 2人
●女	2,335人(-9)	転出 16人
計	4,693人(-22)	出生 0人
世帯数	1,822戸(-7)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
古川 トミ子 さん	107	飯樋町
石井 アイ子 さん	92	伊丹沢
高野 澄子 さん	80	前田・八和木
大村 文一 さん	71	草野
羽賀 吉光 さん	93	草野
阿部 サキコ さん	76	深谷
鍛治内 シゲノ さん	92	小宮
庄司 孝夫 さん	98	関沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

村民広報委員  
ふじおさんの  
いいたて **宝さがし**



第18回 二人三脚

謹賀新年。  
今回は福島市に新居をかまえる花井勝義さん・妻のフミ子さん(草野)を訪ねてきました。

連絡もしないで突然に訪ねたので、あいにくフミさんは膝の具合が悪く、治療中とのことで不在でした。勝義さんに聞けば「結婚してからずっと一所懸命に働いてくれたのだから、ほんの少し休暇もあっていいし、身体を労ってほしい」と優しい口調で話してくれました。

忙しく美容室を営む当時は、おめでたい花嫁さんの着付けなども多く、神社への送り迎えやそれに伴う男手の仕事もあって、勝義さんは長年勤めていたガソリンスタンドを辞め、美容室の裏方の仕事をするようになったそうです。

53年間ともに二人三脚で美容室で働き、喜びもあり、やりがいのある仕事だと宝話のように話してくれました。「内助の功」ならぬ「夫の功」だと思いました。フミさんも膝が治り次第、また元気に仕事をしたいと話しているそうです。また鏡の前に立つお二人の姿が目につかびます。

時々、北海道に避難した息子夫婦から送られてくる孫たちの写真が、茶の間の壁の一面にいっぱい飾られていました。



『飯曾小唄』の歴史を後世に

飯曾小唄保存会がDVDを製作・披露

昭和30年に誕生した『飯曾小唄』は、村民の集いの場で歌われたり、小学校の運動会で児童が踊りを披露したりして、幅広い世代から愛され、地域に根付き、継承されてきました。

そんな『飯曾小唄』を未来につなぐと、地元有志で立ち上げた飯曾小唄保存会（渡邊富士男会長／飯樋町）がDVDを製作しました。DVDには、『飯曾小唄』の歴史や旧飯曾村の当時の暮らし、四季折々の写真など



ベテランの踊り子さん達を中心に踊りの輪が広がりました。



DVDは村や旧飯曾村の行政区に配付されました。ブルーレイ版も製作されています。

が、地元住民のピアノ演奏やナレーションと共に収録され、唄と踊りが映像で記録されています。11月25日には、「飯館村地域防災センター」（旧飯樋小学校）で製作発表会が行われました。会には保存会の他、移住者を含む飯樋四区の住民らが参加。全員でDVDを鑑賞した後、心をひとつに『飯曾小唄』を踊りました。故郷を大切に想う気持ちの形となり、歴史を紡いできた『飯曾小唄』を未来につなぎます。



参加者全員で記念撮影。『飯曾小唄』DVD・ブルーレイをご希望の方は、渡邊富士男会長（☎090-7568-7392）まで。

震災前の村の写真を皆さんから募集しています

2/2  
まで

震災前おおむね10年間の写真を募集中! 街並み・集落・店舗・農地（農作業）・里山風景・イベント・仕事・暮らしの光景など震災直前の村の様子が分かる写真を募集します。※プリント写真は後日返却します。

- お名前・住所・電話番号をご明記ください。
  - 応募写真の内容を簡単に書いてください。
  - 郵送 〒960-1892 飯館村伊丹沢字伊丹沢580番地1 飯館村役場 村づくり推進課企画定住係 「広報いいたて」写真募集係
  - メール（データ送付） kikaku@vill.iitate.fukushima.jp
- 問 村づくり推進課企画定住係（広報） ☎0244-42-1613

〈編集後記〉

「わざわざ来てくれてありがとうございました。情報をいただいで感謝しなければならぬのはこちらなのに、あたたかい「ありがとう」をもらいます。村民の皆さんのおかげで「広報いいたて」があります。恩返しのできる気持ちで、見て楽しんでもらえる広報を目指して。新年も頑張ります。（菅野）

〈コロナ禍による制限〉

が緩和された令和5年たくさんのイベントが開催され、赤ちゃんからお年寄りまで、皆さんの明るい笑顔にどんな会えるようになりました。新しい年が、平和で希望に満ちた1年になりますように。令和6年の「広報いいたて」が皆さんの輝く笑顔でいっぱいになりますように。（星）